☆みてみて！こんなのできた！☆

☆ここ数日でぐっと秋が深まり、園庭にもどんぐりがたくさん落ちるようになりました。そんな秋の自然も取り入れながら、子どもたちはいろいろな材料・素材に触れたり、自分たちの遊びに必要なものを考えてつくったりしながら存分に遊んでいます。それぞれの保育室に入ると、「みてみてー！！」の声がたくさん聞こえてきます。







3歳児は、一枚の丸い紙が人形の顔になったり、電車の車輪になったり、キャンディやメロンパンになったり…。箱や広告を細く巻いた棒にぺたっ！とつけるだけで、いろいろなものに見立ててすぐに遊び出せることが楽しいようです。メロンパン屋さんでは、「いらっしゃいませ～」「ひとつください！」と、先生や友達と簡単なやりとりを楽しんでいます。

4歳児は、「わたしたちゼリー屋さんよね！」「電車を走らせる線路をつなげよう！」と数人の友達とイメージをもちながら遊んでいます。いろいろある材料を見比べ、「こんな風にしたらいいかも！」「わたしはここをカラフルにしたんだ♪」と選んでいます。自分なりのこだわりポイントがあるようですよ。



5歳児は、自分がつくりたいものや遊びにあったらいいなと思うものをじっくりとつくり進めていく姿があります。

ロボットつくりの場では、片手で箱を支えながらガムテープを貼るのが難しい…と困っていたAくんに、Bくんが「こっち持ってようか？」と声を掛け、助けようとする姿がありましたよ！









作品展（ひらのっこ展）について

１１月２６日（木）９：００～１６：３０

２７日（金）９：００～１６：３０

２８日（土）９：００～１１：３０

遊びの中から生まれた子どもたちの作品をぜひ見に来てくださいね！